

布施神社「お田植祭」

5月5日、富地域の布施神社において、お田植祭が行われました。五穀豊穰を祈る神事で岡山県重要無形民俗文化財に指定されています。

この祭の一番の見どころは、殿様が家来の福太郎とのやりとり。殿様が笑えばその年の稲作は不作となるといわれており、福太郎はあの手この手で殿様を笑わせようとしますが、最後まで殿様は笑うことなく終えることができました。

この日はあいにく雨模様でしたが、会場に訪れた多くの観客から拍手が送られていました。



創業60周年で寄附

(株)山田養蜂場は、創業60周年記念事業として寄附を贈りました。

5月8日に行われた贈呈式には、鏡野町、商工会、NPO法人元気ツズが出席。山田英生社長がそれぞれに目録を手渡し、「事業活動を通じて社会に貢献することが企業の使命。60周年の節目の年に、地域あつての企業であることを再認識するため寄附させていただきました。」とあいさつしました。

町では、まちづくり、教育・文化・スポーツ、社会福祉の三分野の振興に役立てます。



春の味覚を満喫! 夢広場「味覚祭」

「春の味覚祭」(財)鏡野町振興公社主催)が同町円宗寺「夢広場」で5月4日と5日の2日間開催されました。

夢広場青空市場では、旬のとれたての新鮮な野菜・花などを多くの来場者が買い求めていました。

テント村では、鏡野町の特産品の「ひらめの塩焼き」「地鶏のジャンボ串焼き」「杵つきもち実演販売」「山菜おこわ」「ひらめ寿司」「バラ寿司」「福ふくまんじゅう」「子宝まんじゅう」をはじめ、「柏もち」「鶏のからあげ」「鮮魚」「苺ロールケーキ」「たこ焼き・たい焼き」「うどん」「焼きそば」「ポン菓子」「味噌田楽」などが販売され、山の幸、海の幸がいっぱいの味覚祭でした。



また、イベント期間中は豚汁の無料サービスも行われ長い列ができました。

5月4日には、津山商業高校の皆さんが大事に育てた「錦鯉」の展示即売も行われました。

一方、イベント広場では、郷土芸能の「ソーラン踊り・銭太鼓」や「椎茸の原木切り競争」「ビンゴゲーム」「キャラクターショー」などが行われ家族連れでにぎわいました。